

※申請者名：JA広島果実連株式会社、品目：かんきつ、ぶどう

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ①輸出規制や使用農薬登録の違いにより輸出先や品種が制限される。
- ②国内外の産地間との価格競争が年々強まっている。

【課題】

- ①生産面では、国内の異常気象が頻発する傾向が強まる中で、生産が不安定となっており生産量が伸びない。また、シャインマスカット以外のぶどうは生育期間中の高温などの気象条件により果実体質が弱くなっている。
- ②販売面で、かんきつ（レモン）は輸出先で未完着（グリーン色）の需要がなく、品質需要に合わせて出荷期間が短くなる。ぶどう（シャインマスカット）は国内外の産地との品質競争が強まっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

1 かんきつ

【生産】

- ①栽培面積拡大のため、大苗育苗による園地の早期成園化を進め生産量の拡大を進める。
- ②スマート農業技術の導入により、栽培管理の省力化による生産拡大や栽培環境整備を進め、適地への栽培面積拡大を進める。

【販売】

- ①販売期間延長のため、かんきつ（レモン）の未完着果のカラーリング処理や長期貯蔵技術の確立を進める。
- ②現地輸入商社と連携して、販売店での試食販売活動に取り組み販路拡大を進める。

2 ぶどう（シャインマスカット）

【生産】

栽培面積拡大のため、大苗育苗による園地の早期成園化を進め生産量の拡大を進める。

【販売】

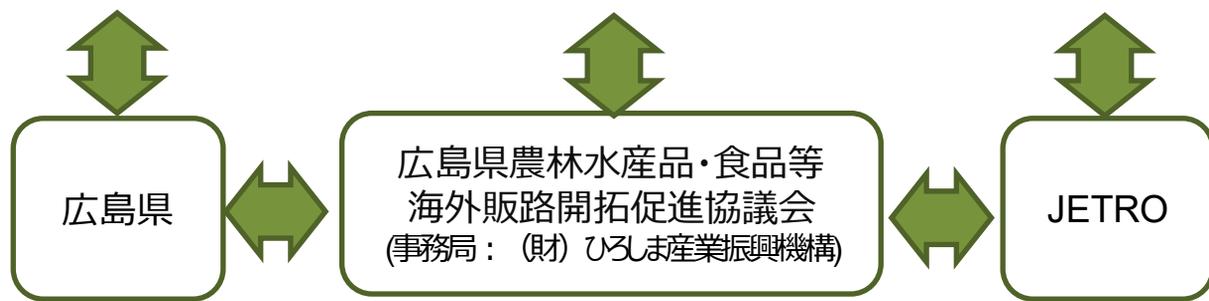
- ①品質重視の生産により他産地との差別化を図る。
- ②現地輸入商社と連携して、販売店での試食販売活動に取り組み販路拡大を進める。

様式2 **輸出事業計画**

※申請者名：JA広島果実連株式会社、品目：かんきつ・ぶどう

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

販売：JA広島果実連株式会社(JA広島果実連)
【生産：JA広島ゆたか・尾道市・福山市・ひろしま・広島市】



- ・国との連絡調整
- ・販路拡大支援
- ・生産体制整備支援

- ・販路拡大支援

- ・輸出先国・地域の情報提供

4. 輸出目標額

	かんきつ		ぶどう	
	現状 (R2年度)	目標(R9年度)	現状 (R2年度)	目標(R9年度)
輸出額(円)	90,000	3,000,000	2,021,400	5,000,000
輸出量(t)	0.2	10.0	1.6	3.0
輸出先国	シンガポール	香港、マレーシア	台湾、香港	台湾、香港、マレーシア